

民主戸田

No.1893
2025年6月22日
発行
日本共産党
戸田市委員会
048-443-8332



市議団ホームページ
QRコード
※市議団HPは現在
更新準備中です

日本共産党戸田市議団

市民要求実現へ 一般質問おこなう

6月議会の一般質問が、6月10・11・12・13日の4日間開催され、市民要求実現に向け、日本共産党戸田市議団は3人全員が一般質問をおこないました。各議員の質問の要点は以下の通りです。(むとう議員の質問は次号掲載予定)

「保護のしおり」ホームページに掲載

本田哲議員の一般質問で部長答弁

本田 さいたま市のホームページでは「生活保護



一般質問に立つ本田議員 =13日

のしおり」が見られる。本市の「保護のしおり」もホームページで見られるようにすべきではないか。



「生活保護の申請は『国民の権利』です。」と書かれたさいたま市のホームページ。「生活保護のしおり」(PDF)を掲載。

(答弁) 掲載内容を整理し、ホームページに掲載する。
本田 「保護のしおり」を市内公共施設に置くべきではないか。
(答弁) さまざまな市政情報があるなかで「保護のしおり」を置くことは難しい。
本田 生活保護は、憲法25条に基づき生活保護法

で保障され制度で、命とくらし守る最後のセーフティーネットである。「保護のしおり」が、市内公共施設に置かれていない状況はすぐに改めるべき。最優先に置くよう強く要望する。

戸田公園駅西口 ロータリー周辺の 明るさ改善を

本田 「戸田公園駅西口ロータリー周辺をもっと明るくできないか」との要望を受けた。戸田公園駅西口ロータリー周辺の明るさ改善を。

(答弁) 今年度、経年劣化している照明灯14基を交換する。
本田 照明灯の交換で、どれくらい明るくなるのか。
(答弁) 現在の照明灯は、照明灯真下の路面を照らしている。今回、全方向に広がるタイプのLED照明灯に交換するので、現状より明るくなると見込んでいる。

浸水対策の強化を

本田 気候変動のもと、毎年発生するゲリラ豪雨。以下の地域からは浸水対策強化の声が常に寄せられている。①喜沢1丁目の蕨市南町と接する住宅地周辺②川岸1丁目の住宅地内③川岸3丁目の高架下戸田橋下広場西側の住宅地周辺④本町5丁目の戸田公園駅西口交差点南側の住宅地周辺。この地域での浸水対策の状況は。

(答弁) ①喜沢1丁目は、雨水浸透枡を20箇所設置②川岸1丁目は、雨水枡や菖蒲川へ排出するポンプの設置と環境空間の地中に雨水浸透施設を整備③川岸3丁目は、雨水浸透枡を7箇所設置④本町5丁目は、雨水枡の設置と戸田公園駅西口前緑地に雨水浸透施設を整備している。

本田 今後、市民の命と財産を守る地方自治体として、国に対しインフラ

整備への財政支援強化の声を上げ、更なる浸水対策の強化を求める。

土のうステーションの設置を

本田 「川岸さつき通り広場」への土のうステーション設置要望に応えるべき。設置の予算は。

(答弁) 導入時の経費約50万円、維持管理費約25万円である。

本田 土のうステーションは、「減災」につながる重要な存在である。「減災の事業に充てる」との目的をもった防災減災基金(残高7億485万5千円)を活用し、設置すべきではないか。
(答弁) 基金の活用については、財政部局と調整を図る。

本田 財政部局と前向きに調整をして頂きたい。また財政部局も、基金の目的に照らし「減災」につながる判断したら、基金活用の判断をして頂きたい。

6月議会
一般質問

脱炭素社会の実現に 向けた、現状と今後

公共施設等を対象に削減に取り組む

花井 地球温暖化対策は待ったなし。戸田市環境基本計画2021年改定版における2050年脱炭素社会に向けた現在の達成状況と今後の取り組みは。

(答弁) 市域全域については、最新の2022年度実績で基準年度比18%の削減率を記録している。公共施設については、最新の2024年度実績で基準年度比8%の削減率を記録している。今後、公共施設を対象とする削減目標の達成に向けて取り組みを進めていく。

花井 広報誌・HP等を利用した達成状況の見える化し、国に対して対策強化、毎年の検証をしっかりとこない取り組みのスピードを上げていくよう強く要望する。

公立学童保育室の充実を

花井 預かり時間の拡大・長期休みの保育内容の充実を要望する声があるが、市の見解をうかがう。

(答弁) 預かり時間の拡大に関して、今後の需要や社会情勢等を見極めながら、



一般質問に立つ花井議員 =11日

引き続き調査・研究をしていく。

各学童保育室は施設等の状況に応じ、できる範囲で工夫を凝らした保育をおこなっている、引き続き民間学童保育室の取組等を参考に保育の充実を図っていく。

子育て支援の周知改善と拡大を

花井 4か月の赤ちゃんの死亡事故を受けて、本市の妊娠から子育てまでの支援について。妊婦保健指導、産前産後支援ヘルプサービス、産後ケア事業、乳児家庭全戸訪問事業及び子育て相談ルームにおける連携と、今後の改善策について。

(答弁) 各事業の連携については、保健指導や家庭訪問時の状況、また妊産婦からの相談内容等を親子健やか室内で情報共有するとともに、支援が必要な状況であると判断した際には、随時フォローのうえ、必要な支援につなげるなど、地区担当の保健師が継続的にかかわれるよう取り組んでいる。今後の改善策については、提供するサービスの周知や情報の見つけやすさなど、情報発信の面での改善が必要と考えている。今年度、市のホームページのリニューアルに合わせて、子育て情報を集約した「こども・若者総合サイト」を立ち上げる予定であり、市民が情報を探しやすい、分かりやすい情報発信となるよう努めていく。

日本共産党提出 4つの意見書 国・県への提出ならず

日本共産党戸田市議員団は、戸田市議会から国・県に対し、国民の負担軽減を図る4つの意見書提出を求めています。13日に開かれた議会運営委員会で、各会派の賛否が示されましたが、全会派の賛同が得られず意見書提出とはなりませんでしたが、(意見書一覧表参照)。

プレミアム付電子商品券 1万5000セット増加

1万5000セット増加

13日に開かれた議会運営委員会で、国から物価高騰対応重点支援地方創生交付金が交付されたことに伴い、プレミアム付電子商品券の第5弾【申請期間：8月20日～9月10日。利用期間：10月1日～2026(令和8)年1月31日】の発行セット数2万5000セットに、1万5000セットを増やし4万セットにする

追加議案(2025年度補正予算)を、19日の議会最終日に上程すると、菅原市長より報告がありました。補正額は、3665万9千円(国の交付金2695万円)で、補正後の予算総額は、653億5711万1千円となります。同日、総務常任委員会と市民生活常任委員会で補正予算の審査がおこなわれ、

日本共産党戸田市議団提出の4つの意見書	共産党	戸田の会	政策TODA	公明党	平政会	りっけん戸田	保守の会
①下水道料金を引き下げるために国の支援強化を求める意見書	○	×	△	×	×	△	○
②埼玉県水道料金引き上げの撤回を求める意見書	○	×	×	×	×	×	○
③消費税率の5%への引き下げを求める意見書	○	△	△	×	×	△	△
④米不足と価格高騰に対して、緊急対策と抜本対策を求める意見書	○	△	△	×	△	○	○

○…賛成 △…調整の余地あり ×…反対

◆戸田の会(酒井、浅生、野澤、佐藤、辺見、小沼、宮内、矢澤)
◆政策TODA(遠藤、細田、そごう、小山、古屋)
◆公明党(竹内、石川、三輪、三浦)
◆平政会(榎本、斎藤)
◆りっけん戸田(小金沢)
◆保守の会(河合)
- 敬称略 -

その日のうちに討論、採決されます。